

## 出展者から見るミュンヘン・ハイエンドショー

スペック株式会社 代表取締役社長  
石見 周三

今年の HIGH END 2016 ミュンヘンは例年より一週間早まり 5月5日～8日の4日間、例年通りの M.O.C にて開催されました。

参加出展メーカー653社が HALL1～4 で 249 コーナー・キャビンの展開とアトリウム 3 フロアにて 136 ルームの合計 385 ブースを使い各社自社製品のアピールを行いました。

益々の参加メーカーの拡大により「世界最大のハイエンドオーディオショー」は名実ともにゆるぎないものになってまいりました。

海外から集まるディーラー・ディストリビューターの為に空港へのシャトルバスの運行や協会認定ホテルとのシャトルバスサービスを展開。地下鉄 U6 で市内中心部から最寄りのキーフェルンガルテン駅までほぼ 25 分とアクセスも非常に便利なロケーションです。

初日から大変な混雑が4日間続き大変有意義な時間を過ごせたと感じました。弊社も従来までの各国のディストリビューターに加え6カ国との契約が成立しました。



我々出展者から見た現場での様々な体験をご報告致します。

今回弊社はスフォルツァート様とバッファロー様（海外では MELCO）と協力してコーナーブースと試聴用キャビンを同時展開しました。

まず 会場の施工は開催2日前の5月2日より始まりブースやコーナー、試聴キャビンなどが前々日の3日までに完成。電気配線やこまごました修正などもほぼ同日完成していました。弊社の協力をしてくれたオランダのディストリビューターはこの5月3日夜には大型器材を搬入しています。(臨機応変に主催者側が対応してくれました)



本来4日朝 キャビン鍵を渡されますが前日には弊社ブースの鍵は保持しており、早朝からの作業がスムーズに行われました。

搬入当日は一昨年のように日本から送った製品

や部材は遅れることなく10時30分にはブース前に到着。開梱も容易に進める事が出来ました。

前回の時と違いキャビン（試聴ルーム）の素材も新しくなっており、防音ボードは定在波の発生もなく考えられたものでした。もちろんコーナーには吸音材を内在したコーナーボードが使われていました。天井パネルも従来のものと違い90cm角の天井ボードに吸音材を乗せたものではなく素材そのものが吸音効果を持たせた一体パネルでした。お陰でダウンライトは付けることが出来ず間接照明を壁に当てるといった照明の方法を取らざるをえませんでした。

ただ海外ではこの照明は当たり前で、瞳の虹彩が黒かブルーかブラウンかでも光の感じ方が違い明るすぎなくて、良いように感じました。



キャビン（試聴ルーム）としては全く問題なく良い音で鳴らせたと感謝しています。

弊社の最新アンプ RSA-F33REX（海外仕様）とネットワークプレーヤーRMP-X3（海外仕様）でTANNOYのカンタベリーGRを使い試聴。

「PERFECT」「EXCELLENT」や「CONGRATULATIONS」などの称賛の声と共に「HEALING」をコメントするお客様も多く、良い印象を持って頂いたと考えています。

ブース（展示コーナー）では鍵付きロッカーを奥に設置して展示物の小物を管理。

4日間の開催でしたがガードマンを用意することもなく展示物の破損、紛失も一切ありませんでした。そのまま布さえ掛けなかったのですが問題はなくセキュリティーも万全でした。

電源の引き回しが遅くなったり、要望した展示台が思ったより大きかったりと日本で行く前に想定した事と若干の乖離はあったものの重大ではなく対処可能な範囲でした。

2日間のディストリビューターやディーラー・リテラーの世界からの来場に加え3日目からは近隣ユーザーが入場され、どのブース・どのコーナーも人に溢れ活況を呈しました。

会場には毎日清掃が入り日常からゴミの回収がなされクリーンな感じが好印象です。

まずゴミ箱にカタログひとつ捨てられていません。入場にあたってIDによる名札方式である為チケットなどのゴミ、パンフレットも落ちていません。

時折、主催者側から人を出し会場案内図を手渡ししている光景を見ました。

エンターテインメントはフルートとオーボエのクラシックデュオで、各コーナーで不定期に演奏をし、人々を和ませていました。



このタイミングで行われることはオーディオでは端境期であり新年度・年度末に向かう製品のお披露目として最高に時期でもあり世界的に注目度が高い理由です。



最終日の終了時間は午後6時でしたが例年ミュンヘン空港より当日出発する帰国の人々が3時過ぎにはいなくなりますのでめっきり人がいなくなった印象になります。

弊社ブースも5時から軽くドイツバイツェンビールで打ち上げ。その後搬出を行いました。

例年より手なれた事もあり、送りの輸送業者も早めに来てくれ2時間程度で終了。

昨年までの印象ではどこかで時間を使う場面が必ずある、トラブルも覚悟の思いでしたが今回は初日から最終日まで本当にスムーズでした。

最終日各コーナーに事務局からアンケートを配られました。今回のショーの出展者の意見や次回の要望を聞くものでした。

次回もっと良くしていきたいとの事務局の姿勢を見たような気がします。

来年は更に出展者が拡大すると確信します。

そういった意味では売り手市場になっています。早めのブースエントリーが不可欠と感じます。弊社は来年も弊社を扱っているディストリビューターやディーラーの為にも出店してゆく所存です。

以上で2016のレポートとします。

#### 筆者プロフィール



石見 周三 (いしみ しゅうぞう)

元パイオニアマーケティング取締役営業本部長

2010年1月 SPEC 株式会社を出資設立、

代表取締役

出身 三重県四日市市 62歳